

米子と大火

遠藤 二郎

世間ではよく米子は大火のないところといわれているが、はたしてそうであろうか。今これについて少し卑見を述べてみたい。

まず大火の定義であるが、ここでは火災当時、俗に大火とよばれたものをとった。何となれば大火とはある場合は 100 戸以上の焼失をいうが、これは 100 戸未満の部落でたとえ全焼しても大火とはいえないことになるし、また戸数のかわりに焼失面積を基準にしても前と同じく不合理である。あるいはまた焼失した戸数乃至面積を全体に対する比としてあらわす方法も考えられるが、これとてもなお不合理をまぬかれない。

さて本県の気象史料のうち、火災に関するものは比較的多い。このことは火災の多かったことを示すにほかならない。藩政時代、火災はその原因の如何を問わずおおむね犯罪視され罰せられるのがつねであり、従って当時の人の火災に対する注意は恐らく現代人以上ではなかったかと考えられるにもかかわらず、前述の結果となっているのは一に家屋構造や消火設備等の点に起因するものと考えられる。

今この中から米子における大火を拾ってみることにする。戦国時代、米子城下の兵火による焼失もあったがこれはしばらくおく。徳川時代には、因府年表によれば、宝永 5 年 8 月 29 日 (1708 年 10 月 12 日) の条に、

巳の刻米子大火 但し御城近辺は恙無
と見えており、その他相当な火災と考えられるものには、例えば

元祿 3 年 (1690), 同 14 年 (1701)
延享 4 年 (1747), 寛延 3 年 (1750)
宝暦 5 年 (1755), 同 11 年 (1761)
寛政 6 年 (1794), 天保 6 年 (1835)
嘉永 元年 (1848), 文久 3 年 (1864)

米国コーネル大学に滞在中の内藤恵吉氏からの便り (1954 年 11 月 22 日附、畠山久尙宛の抜書)

先日オハイオ州の Dayton へ Prof. Gordon と一緒に行って来ました。ここには Wright Field という空軍の飛行場があり、その中に空軍の研究があります。この一部で電波気象をやっており、リフラクトメーター (畠山註、空気の電波に対する屈折率を直接測定する装置) を飛行機にのせて観測しております。この 1 人は現用のゾンデ観測で M-Curue は十分別けると主張しておりました。ゾンデの湿度計はリチウムクロライドを

等のものがあげられ、くだつて米子自治史によれば、大正 14 年 5 月にも大火があった。上記のように米子には古来大火はあったのであって、大火のないところなどという説は当たらない。

さらに気象的には、一般に火災は湿度の低い時や風の強い時に発生する危険が多いといわれている。米子だけが気象的に例外たりえないことは当然であつて湿度の低いことや風の強いこともありうるから、当然過去において大火はありえたであろうし将来にも起りうるであろうことは考えられる。今試みに米子と境における昭和 15 年より同 18 年に至る 4 カ年間の毎時観測中の暴風回数を比較してみると、前者 381 回、後者 81 回となり米子は境にくらべ約 5 倍の回数となっている。これからしても米子にはむしろ境にくらべ大火の起りうる危険は多いとみなければならぬ。ちなみに、ある人は市内の主要道路の走向が主風に平行していないことをもって大火のない理由としておられるが、前述のように大火はあったし、また将来あるだろうと考えられるからこの説は大火になりにくいという 1 つの理由にはなつても決して大火のない理由にはならない。まして巷間でいう米子の人の崇仏の結果などということは、あえてこの人に限らないことであつて何ら理由となすに当たらない。とにかく米子に限り大火のない理由は何もないのである。むしろ月並でない方ではあるが漫然と大火のないところなどと妄信している油断こそかえつて大火を招くことになるかも知れない。

要するに米子には歴史的にも大火はあったこと、気象的にも大火は起りうると思えられることをここに指摘したい。終りに本文の御校閲をいただいた三宅所長に深く謝意を表します。
(米子測候所)

使用した例の電気湿度計です。リフラクトメーターは 9000 メガ位を使うもので、飛行機の前につけて半径 10 マイル位でスパイラルに上昇、下降して観測しております。M の傾度の大きなエレベーター・レーヤーが関心事のようです。ray theory による計算値と実測値を比較して、radio hole を議論しておりました。M 曲線の仮定がうまくゆけば ray theory でよく合うようです。とにかく集められたデータは大したものので、その処理に苦勞しているようです。この気象関係のデータを少し貰つて来ましたのでそれを整理しようと思つております。
(畠山久尙)